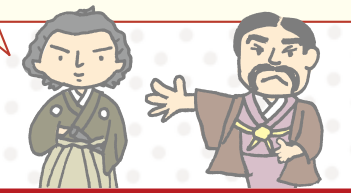


「志国高知 幕末維新博」を通じて地域地域の魅力を発信!

第一幕 平成29年3月4日(土)～平成30年3月31日(土)[予定]
第二幕 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)[予定]

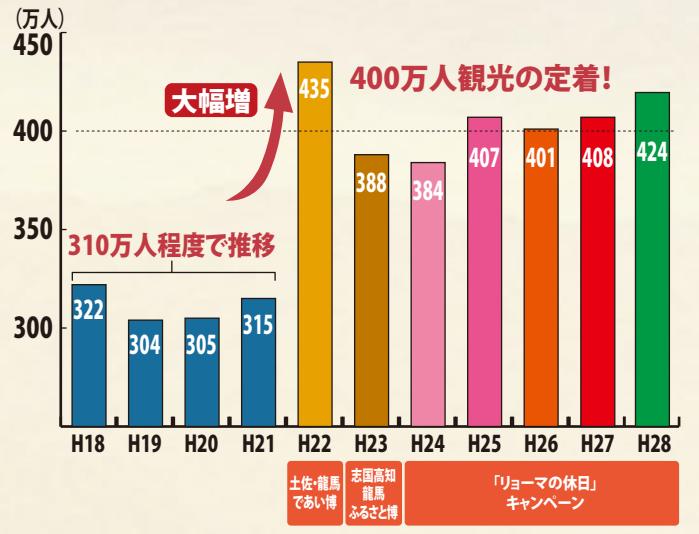
435万人観光の定着を目指して



昨年、高知県にお越しいただいた観光客数は、過去2番目の約424万人となり、平成25年以降4年連続で400万人を超えています。かつて300万人台前半にとどまっていた時よりも約3割増しの水準が定着しています。

NHK大河ドラマ「龍馬伝」放送に合わせて「土佐・龍馬であい博」を開催した平成22年には、過去最高となる435万人の観光客の皆さまにお越しいただきました。県では、過去最高の435万人を上回る観光客数の定着を目標に、今年3月より「志国高知 幕末維新博」を開催するなど、「戦略的な観光地づくり」と「国際観光のさらなる推進」に一層力を入れて取り組んでいます。

県外観光客数の推移



戦略的な観光地づくり

食や自然など、高知ならではの豊かな観光資源を活用し、県外観光客の皆さまのさらなる誘客につなげるとともに、県内各地への周遊を促していくため、今年度は次のような取り組みを重点的に強化します。

1 博覧会を通じた歴史資源の磨き上げと観光クラスターの形成

今年3月4日に開幕した「志国高知 幕末維新博」の開催を通じて、地域地域の歴史資源を磨き上げるとともに、歴史資源と地域の食や自然などが一体となった地域の魅力あふれる周遊コースを整備しています。

あわせて、全国メディアとのタイアップや地域地域でのイベントの開催など、博覧会の魅力を伝えるプロモーションも強力に展開していきます。

2年間を通じて、幕末維新博終了後も引き続き、観光客にお越しいただけるような観光地づくりを進めてまいります。



2 地域の核となる観光拠点の形成

県内の豊かな自然を生かした体験型観光を進めていくため、嶺北地域のアウトドア拠点施設や仁淀川流域のキャンプ場、土佐清水市におけるキャンプ場の整備など県内各地で新たな観光拠点の整備を進めています。

また、さらなる集客を図るため、今後は、龍河洞をはじめとする観光拠点の再活性化を行うことにより、核となる観光地の魅力を一層高める取り組みを推進していきます。



土佐清水市 爪白キャンプ場



香美市 龍河洞

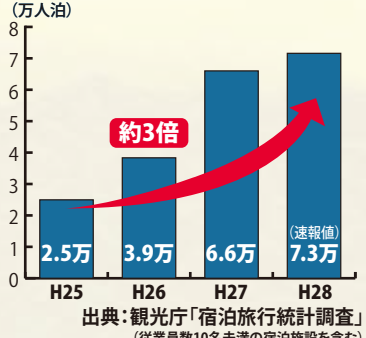


越知町 仁淀川

国際観光のさらなる推進

昨年の外国人観光客の延べ宿泊数は73,240人(速報値)に達し、平成25年に比べて約3倍に増加するなど、国際観光の分野についても、これまでの取り組みの成果があらわれてきました。また、県内に寄港した外国クルーズ客船は、昨年度延べ24隻を数え、今年度もすでに昨年度の2倍以上の予約をいただいています。

高知県の外国人延べ宿泊者数



県では、こうした勢いをさらに加速させ、外国人観光客の飛躍的な増加を実現するため、客船ターミナル施設の新設など必要な施設整備に取り組むとともに、今年度より、台湾・香港・シンガポール・タイの4地域を中心に、高知県への誘客を促進するための継続的なPRを展開していきます。

また、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会に向けて、「よさこい」を世界にアピールするためのイベントを国内外で展開することとしています。

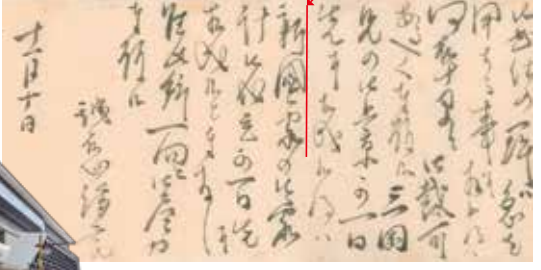


行こう! 幕末維新博!

メイン会場の主な展示(県立高知城歴史博物館)

●新発見坂本龍馬の書簡(直筆) 全国初公開!
期間 5月7日(日)まで
「新国家」という文字が初めて確認された龍馬の手紙を初公開。

新国家



地域会場の主な展示

●ガラス湿板写真を中心とした特別巡回展「幕末維新写真展」
江戸末期から明治維新にかけて撮影されたガラス湿板写真や鶏卵紙写真を下記会場で順次紹介。
期間 4月25日(火)～5月21日(日)
場所 宿毛市立宿毛歴史館
期間 7月12日(水)～9月4日(月)
場所 中岡慎太郎館



●志士たちの遺墨! ～田中光顕の想い～
期間 5月28日(日)まで
場所 佐川町立青山文庫



●幕末の江戸三大道場展
期間 6月18日(日)まで
場所 創造広場「アクトランド」



●没後20年司馬遼太郎展 -21世紀"未来の街角"で
期間 5月25日(木)まで
場所 県立文学館



●風雲児虎太郎の世界
期間 5月31日(水)まで
場所 吉村虎太郎邸

